

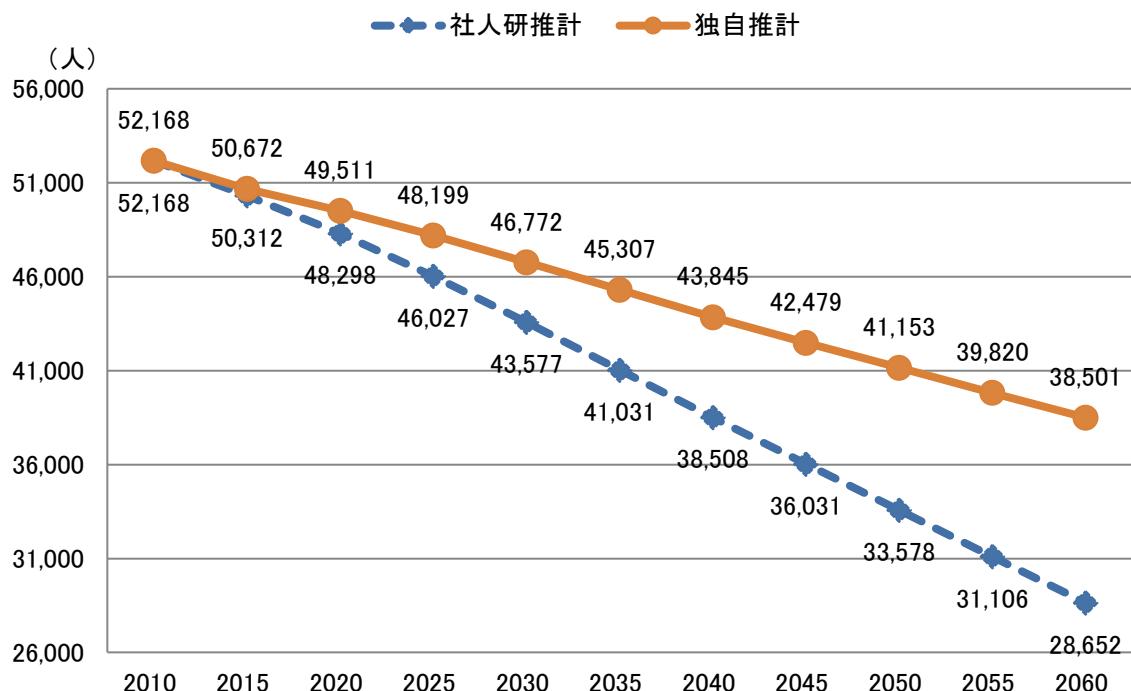
第六次須坂市総合計画作成にかかる 人口推計比較資料

令和2年8月12日（水）

本資料は、第六次須坂市総合計画の策定にあたって、今後須坂市が目標とすべき総人口を設定するために、総人口やそこに至るために必要な出生率・社会移動等の仮定値を比較することを目的にするものである。

1. 現行の人口ビジョンにおける推計人口と独自推計の比較

	推計の起点となる人口	2060年時点の推計人口	出生率の仮定	移動率の仮定
社人研推計	52,168人 (2010年)	28,652人	国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来人口推計(平成25年3月推計)」に準拠 (実績値から将来の出生率・移動率を推計)	すべての性・年代で移動率が±0%（転入と転出が均衡）
独自推計		38,501人	～2030年：2035年の2.07に向けて段階的に上昇 2035年～：2.07を維持	



2. 2015年基点推計と独自推計の比較

最新の社人研推計を基準として、複数の仮定で独自推計を4パターン算出した。「独自推計1」はすでに基本構構想素案資料に盛り込んでいる人口ビジョンと同様の仮定による推計である。「独自推計2」は出生率の上昇の仮定を緩め、千曲市人口ビジョンと同じ2040年に向けて段階的に上昇とした推計である。「独自推計3」は近年の社会動態がプラスに転じていることや須坂移住モデルの成果の継続、インター周辺開発効果を前提に、移動率が均衡する(±0%)だけでなく、さらに子育て世代が5年間で100人増加すると仮定した推計結果である。「独自推計4」は出生率の仮定を独自推計2と、移動率の仮定を独自推計3と同様にした推計結果である。

	推計の起点となる人口	2060年時点の推計人口	出生率の仮定	移動率の仮定
社人研推計	50,725人 (2015年)	30,881人	国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来人口推計(平成25年3月推計)」に準拠 (実績値から将来の出生率・移動率を推計)	
独自推計1 人口ビジョンの独自推計と同じ仮定		38,345人	~2030年:2035年の2.07に向けて段階的に上昇 2035年~:2.07を維持	すべての性・年代で移動率が±0%(転入と転出が均衡)
独自推計2 出生率の上昇ペースを緩める		37,913人	~2035年:2040年の2.07に向けて段階的に上昇 2040年~:2.07を維持	独自推計1と同じ
独自推計3 若い世代を中心に社会増を仮定		39,678人	独自推計1と同じ	すべての性・年代で移動率均衡(±0%)したうえで、子育て世帯を中心に5年間で100人の社会増※
独自推計4 独自推計2・3の仮定		39,239人	独自推計2と同じ	独自推計3と同じ

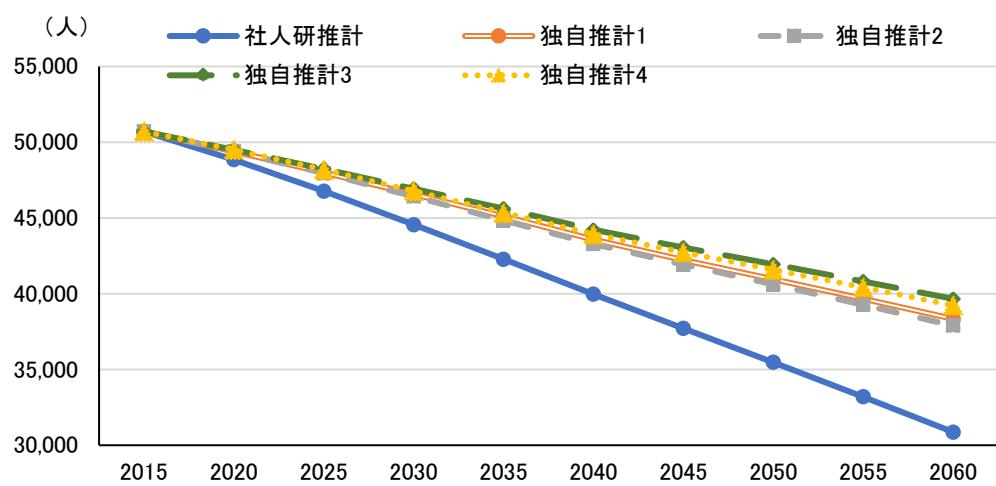
※「子育て世帯を中心に5年間で100人の社会増」の内訳

5~9歳:10人、10~14歳:10人、25~29歳:20人、30~34歳:20人、35~39歳:20人、40~44歳:20人、なお男女比は各年代で1対1としている。

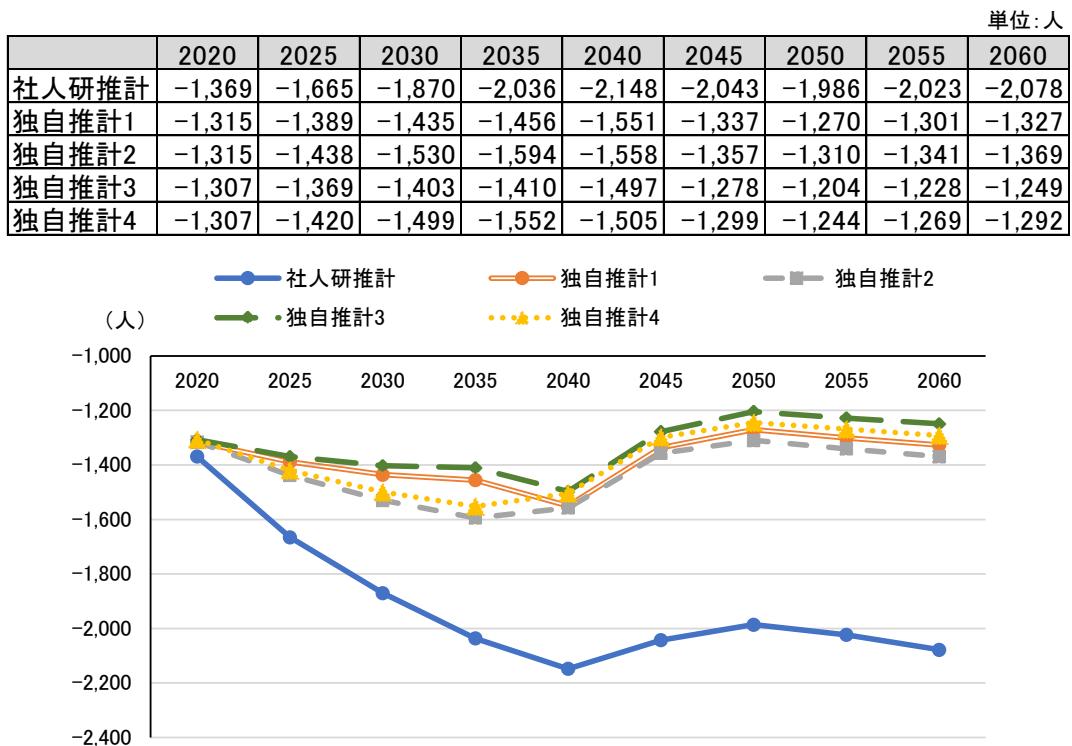
(1) 総人口の比較

社人研推計および4パターンの独自推計結果による総人口の比較が以下である。もっとも総人口の多い独自推計3は2030年に社人研推計より2,375人多い46,946人となり、独自推計1より360人多い推計となる。

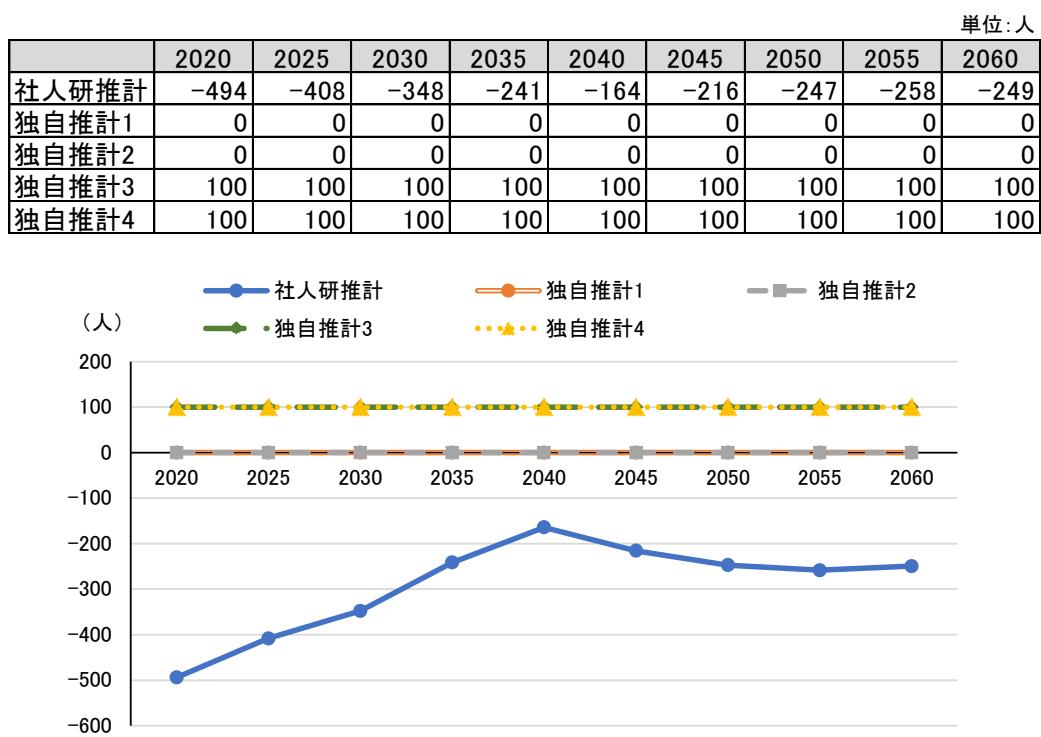
	単位:人									
	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
社人研推計	50,725	48,862	46,789	44,571	42,294	39,981	37,723	35,490	33,208	30,881
独自推計1	50,725	49,410	48,021	46,586	45,130	43,580	42,243	40,973	39,672	38,345
独自推計2	50,725	49,410	47,971	46,441	44,847	43,290	41,933	40,623	39,282	37,913
独自推計3	50,725	49,518	48,249	46,946	45,635	44,238	43,060	41,956	40,827	39,678
独自推計4	50,725	49,518	48,198	46,799	45,347	43,943	42,744	41,600	40,431	39,239



(2) 自然増減の比較



(3) 社会増減の比較

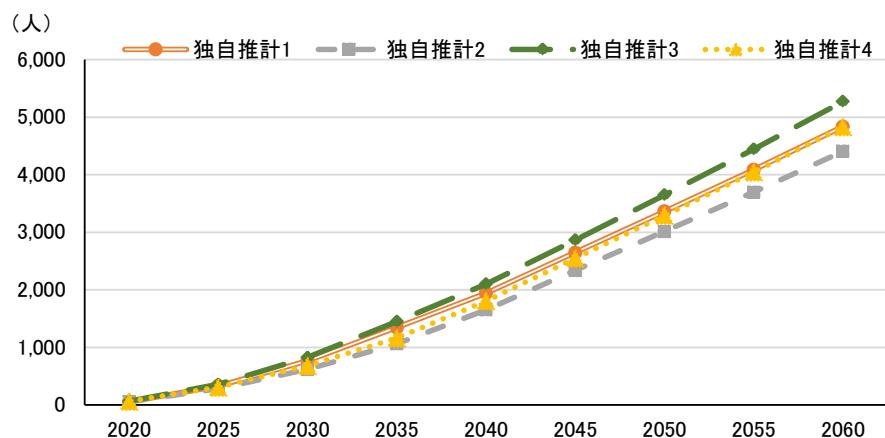


(4) 社人研推計との差の累積(社人研推計にどれだけ上乗せがあるか)

独自推計4パターンについて、社人研推計に比べた5年ごとの増加分の自然増減・社会増減の内訳を示したものである。独自推計3にした場合、2030年に社人研推計よりも上乗せされる2,375人の政策誘導目標は自然増減825人、社会増減1,150人となる。

		単位:人								
		2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
独自推計1	自然増減	54	330	765	1,345	1,943	2,648	3,364	4,086	4,837
	社会増減	494	902	1,250	1,491	1,656	1,871	2,119	2,377	2,627
	合計	548	1,233	2,015	2,837	3,598	4,520	5,483	6,463	7,464
独自推計2	自然増減	54	280	620	1,062	1,653	2,338	3,014	3,697	4,405
	社会増減	494	902	1,250	1,491	1,656	1,871	2,119	2,377	2,627
	合計	548	1,183	1,871	2,554	3,308	4,209	5,133	6,074	7,032
独自推計3	自然増減	62	358	825	1,450	2,101	2,865	3,647	4,442	5,271
	社会増減	594	1,102	1,550	1,891	2,156	2,471	2,819	3,177	3,527
	合計	656	1,460	2,375	3,342	4,256	5,337	6,466	7,619	8,797
独自推計4	自然増減	62	307	678	1,162	1,805	2,549	3,291	4,046	4,831
	社会増減	594	1,102	1,550	1,891	2,156	2,471	2,819	3,177	3,527
	合計	656	1,410	2,228	3,054	3,961	5,021	6,110	7,223	8,358

自然動態



社会動態

